

渡邊産輔 漢学 郷土史家。明治三十四年一月九日長崎縣生れ、昭和二十八年六月十五日歿（九二一六三）。筆名與茂平。長崎中學校卒。短歌を齋藤茂吉、俳句を河東碧梧桐、高浜虚子に學ぶ。大正八年の來縣以來芥川龍之介の知遇を得、十一年蒲原春夫と共に入京して親交となる。十四年父の罹病を歸郷。のち古賀十、二郎の師事として長崎學の權威となる。

著書 『河瀬院通詞本木氏筆略』(昭和二十一年四月一日長崎・長崎学会) 『長崎学会叢書』()、 『河瀬院通詞本木氏筆略』(昭和二十一年一月十一日長崎・長崎学会) 『長崎学会叢書』()、 『河内焼畑元今村氏文書』(昭和二十二年七月十五日長崎・親知銀行長崎支店) 等。

